

- ▶ 全国的な木づかい運動の展開や森林環境譲与税の使途への関心など、木づかいに対する気運が高まっている中、本県では全県的な木づかい運動を加速化させる取組や、木材利用への県民理解を深めるための木育活動を着実に推進するため、人材育成も含めた推進体制の構築が必要となっている。
- ▶ このため、令和4年度は、木づかい県民会議において県産材の利用拡大等に顕著な功績があった者に対して感謝状を贈呈し、木づかい気運の醸成を図るとともに、優良事例の発表や、インターネットによる情報発信等を実施した。また、令和元年度から取り組んでいる幼保園を対象とした「みやざき木育プログラム」の実践や木育指導者の育成を行うなど、本県の良さを活かしたプログラム開発と人材育成に取り組んだ。

□ 事業内容

1 みやざきWOOD・LOVE推進事業

- ・木材の良さや利用することの意義について、県民の理解と認識を深め、木材利用に繋げるための木づかい県民会議を開催する。
- ・「木育ネットワーク部会」を活用し、木に触れる機会を提供するなど森林・林業、木材、環境について分かりやすく県民に伝える木育活動を実施する。

【事業費】25,130千円（うち譲与税12,879千円）

【実績】・みやざき木づかい県民会議の開催及び感謝状の贈呈

- ・木育プログラムの開発
- ・高校生を対象とした木材産業見学ツアーの実施
- ・11の団体、企業が行う木育活動を支援
- ・オリパラ材を活用したベンチ、バックボード等の製作



(木づかい県民会議の開催)



〔宮崎工業高校生を対象とした木材産業見学ツアー〕

□ 事業スキーム

みやざき木づかい県民会議

木の良さや利用することの意義について、県民一人ひとりが理解と認識を深め、県民全体で県産材の地産地消を目指す。

木育ネットワーク部会

「木づかい運動」を具現化する普及啓発及び木育活動の実践

□ 工夫・留意した点

- ・宮崎らしい自然、伝統、文化を活かした木育プログラムの開発を行った。
- ・木育を推進するため、木育かわら版の制作、配布を行った。

□ 基礎データ

①令和4年度譲与額：184,332千円	②私有林人工林面積（※1）：176,375ha
③人口（※2）：1,069,576人	④林業就業者数（※2）：3,587人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2年国勢調査」より